



原案をつくる

学級タイムは基本的に君たちの時間だから、君たちの運営にはなるべく口を出さないようにしたいと思うが、昨日の様子を見ると、もう少し改善の余地があるように感じたし、それは、君たちの今後の活躍場面にも関係してくることだと思ったので、最後にちょっとだけ意見を言わせてもらった。言い足りなかった部分を補足しておこう。

*

日比谷生は、誰もが学級委員を引き受けられる程度の力を潜在的に持っている。しかし、全員が力ある集団であるが故に、変に遠慮してみたり、逆に自分の意見に固執してみたりして、全員をまとめていくことが難しいと感じられる場面も出てくるし、せっかく持っている力を十分に発揮できないままになってしまうこともある。

だから、事前の準備、つまり「原案」を委員の人が相談して用意しておくことが大切なのである。

例えば、委員の人は決めるべきことの全体をできるだけ見通して、「今日はAとBとCを決めなければならない」なら、「どんな風に説明して、どういう順番で決めたらいいか」、「どういう方法で決めたらいいか」、そして、「もしうまく決まらなかった時は、どうしたらいいのか」、さらに、「とりあえず声をかけてみるとしたら誰がイイのか」といったことを、あらかじめ集まった相談しておくことが大切だろう。

そして、例えば、星陵祭のプログラムの原稿を依頼するに当たっては、ただ「やってくれる人はいませんか？」と募集するのではなく、「こんなことを中心に書いてほしいんだ

けど、金曜日までに100字くらいでまとめてくれる人はいませんか？」と、書く内容の方向性を示したり、字数・期限をはっきり伝えて募集すれば、つまり、「原案」を示して募集すれば、「それならできそうだな」とか、「やってみようかな」と思う人が、積極的に出てきたのではないだろうか。

メイク担当を募集する場合も、例えば「興味はあるが、自分は化粧品を持っていないからできそうもないな」と感じる人がいそうだと予想できれば、化粧品は星陵祭でも使用するわけだから、みんなでお金を出しあって百円ショップで買うとか、おかーさん（おとーさん？）に頼んでみられそうな人を募集してサポートしてもらおうとか、色々なアイデアが出てきたかも知れない。その上で、「化粧品のことは後でみんなで考えるから、男子でもいいし、とりあえずメイクに興味のある人はいませんか？」と「原案」を示せば、もっと短時間で決められたのではないだろうか。

そのためには、「原案」を作るという事前の準備が必要だが、それが委員の仕事だろうし、そうやってみんなの大切な時間を有効に活用するとともに、眠っているみんなの力をすくい上げることができれば、後の活動もグッと加速していくに違いない。

原案は原「案」だから、もちろんその通りにならなくたって構わない。やってくれる人に任せればよいのである。ただ、それを示すことによって、やるべきことの量や質、方向性が見えてくれば、仕事も引き受けやすくなるだろうということである。大変だけど、そういう「原案」の提示を心がけてほしい。